

2025年度 就労者に対する日本語教師初任者研修

9月開講 土曜コース／水曜コース 募集要項

一般財団法人日本国際協力センター(JICE)は、2019年より毎年、就労者に対する日本語教育に携わる初任教師を育成する研修を提供してきました。今年度も、文部科学省より「現職日本語教師研修プログラム普及事業」(※p.4 注1)を受託し、「就労者に対する日本語教師初任者研修」を実施します。就労の認定日本語教育機関が実施する「就労者に対する初任者研修」として、40年に渡る日本語教育の実績をベースに、「日本語教育の参照枠」や、3年後に施行される育成就労制度など、これからの日本語教育を視野に入れて、新しい知見も含めてご提供します。

■ 事業の目的

本事業では、「就労」の活動分野で0～3年程度の指導経験を持つ初任教師が、就労分野の教育現場で活躍していくための研修を実施します。今後、日本語教師には「日本語教育の参照枠」等の政策的枠組みや、育成就労制度等の就労者の受入れ体制の動向を理解するとともに、就労者と就労現場のニーズに適した教育実践を立ち上げていくことが一層求められます。本研修では、次のような資質・能力をもった人材の育成を目指して、カリキュラムを構成しています。

- 外国人労働者を取り巻く社会の変化、就労現場の多様性を理解できる
- 就労現場や就労者のニーズ把握・分析に基づき、最適なコースデザインを構想できる
- 就労者のニーズやライフステージ等を踏まえた教育実践及びキャリア支援に必要な基礎知識、技能を備えている
- 自身の実践を省察するとともに、就労者や就労先の関係者等と適切に意思疎通・連携を図りながら、教育実践を向上させることができる

※詳しい研修のカリキュラム(全12科目)は、こちらからご確認いただけます。

[カリキュラム\(土曜コース\)](#)

[カリキュラム\(水曜コース\)](#)

■ 研修の特徴

- 就労の認定日本語教育機関の知見をベースに、求職者から在職中の就労者までを視野に入れた、就労の教育現場の多様性に対応していく力を向上させる研修です。
 - オンデマンドコンテンツ視聴と同期型研修を組み合わせたオンラインによる研修です。
 - 反転授業形式の研修です。各研修の前後に課題に取り組みながら進めていきます。
 - ワークショップを重ね、受講生同士の協働を通して、技能や態度の向上を図っていきます。
- 就労分野の日本語教育の専門家のほか、法律やキャリア支援等の専門家、大学教員および企業関係者などが講師を務め、多面的かつ効果的な講習を提供します。

■研修スケジュール

➤ ZOOMを使用した同期型研修（全9回）：

土曜コース：9月6日～2026年1月10日（隔週土曜日）

水曜コース：9月10日～2026年1月14日（隔週水曜日）

※Eラーニングシステムを使用し、8月下旬から、オンデマンド学習（課題・動画視聴）を開講します。

※全研修を通して、事前課題、動画視聴、振り返りシート・事後課題などに取り組みます。

研修	テーマ	土曜コース 9:00～12:30	水曜コース 9:00～12:30
オンデマンド	「日本語教育の参照枠」の理解		
同期型 第1回	就労者に対する日本語教育（導入）	9月6日	9月10日
オンデマンド	外国人就労者に関わる制度 外国人の受け入れ政策と日本語教師の役割		
同期型 第2回	コースデザイン	9月20日	9月24日
オンデマンド	外国人を採用する企業等の事例		
同期型 第3回	評価の方法	10月4日	10月8日
オンデマンド	指導法		
同期型 第4回	指導法	10月18日	10月22日
オンデマンド	外国人就労者の語りを聞く 職場環境・異文化間コミュニケーション		
同期型 第5回	コースデザインと教育実践 演習（導入）	11月1日	11月5日
オンデマンド	指導法 課題遂行型実践演習		
同期型 第6回	指導法 課題遂行型実践演習	11月15日	11月19日
オンデマンド	キャリア支援と日本語教師の役割		
同期型 第7回	キャリア支援（実践）	11月29日	12月3日
同期型 第8回	コースデザインと教育実践 演習（準備）	12月13日	12月17日
オンデマンド	コースデザインと教育実践 演習（発表）		
同期型 第9回	コースデザインと教育実践 演習（振り返り）	1月10日	1月14日

※研修は、全12科目（約48時間）で構成された研修です。詳しいカリキュラムは、前ページのリンクよりご確認ください。

※研修時間は、休憩時間を含みます。

※「コースデザインと教育実践 演習」は、グループ活動や発表準備のため、グループごと研修時間外にも適宜、お時間を確保・調整いただきます。予めご了承ください。

■受講料

・15,000円(税込) ※以下指定テキスト代別途

・下記テキストを使用します。お持ちでない方は事前に各自でご購入をお願いいたします。

1) はたらくための日本語 職場のコミュニケーションⅠ 2,200円(税込)

2) はたらくための日本語 キャリアプランニング 2,200円(税込)

※テキストは、書店またはオンラインでご購入可能です。多言語翻訳付きのテキストです。

お好きな言語版で構いません。オンラインでご購入の場合は、こちら(凡人社HP)へ↓。

<https://www.bonjinsha.com/goods/index/index/page/1?pt=4>

なお、オンライン研修に参加するための通信費等は、別途個人の自己負担となります。

■応募資格

日本語教師【養成】(※p.4 注2)を修了した方で、以下の2つすべてに該当する方。

- ① 就労者を対象に教育実践をしていきたいと考えている方。
- ② オンライン研修にすべて参加でき、オンデマンド学習及び事前・事後課題に取り組む時間が確保できる方

※ 研修は、日本語教師としてのクラス指導経験が1年以上ある方を想定していますが、経験が浅い方も参加できます。

※ 就労者を対象に3年以上の指導経験がある方で、ブラッシュアップをしたい方も参加できます。

■定員: 各コース 50名

■修了要件

- オンデマンド視聴履歴(80%以上)及び同期型研修への出席(80%以上)
- 科目ごとの課題等の提出(80%以上)
- 最終レポートの提出

※修了の判定は、科目ごとの目標達成も勘案して、総合的に判定します。

※修了要件を満たした方には、修了証を発行します。また、文部科学省からオープンバッジ(受講証明)を取得することができます。

■留意点

- 同期型研修では、パソコン、カメラ、マイクをご用意ください。
スマートフォン、タブレットからの受講は、資料の共有などの観点からお勧めできません。
- 必ずビデオをオン(ご自身の顔が見える状態)にしてご参加ください。
- 研修に参加するための通信機器や通信料については個人負担になります。
- オンラインホワイトボードなどの web サイトを使用してグループワークを行います。

■応募方法: こちらの[応募フォーム](#)にアクセスして、ご登録をお願いします。

■締め切り: 土曜コース 2025年8月22日(金)

水曜コース 2025年8月27日(水)

※応募多数により受講いただけないこともございます。

締め切り後、電子メールにて受講の可否をお知らせします。

※注1

令和7年度(2025年度)現職日本語教師研修プログラム普及事業について

本事業は、平成31年に文化審議会国語分科会が取りまとめた「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改定版」に基づいて開発された優良な研修プログラムの実施を、文部科学省が支援し、「養成・研修報告」の円滑な普及を促すとともに、日本語教育人材の資質・能力の向上を図ることを目的としています。

※注2

原則として次のいずれかに該当する者を指す。

- ① 大学(短期大学を除く。以下この注において同じ。)又は大学院において日本語教育に関する教育課程を履修して45単位以上を習得し、かつ、当該大学を卒業しまたは当該大学院の課程を修了した者
- ② 大学又は大学院において日本語教育に関する科目の単位を26単位以上習得し、かつ、当該大学を卒業しまたは当該大学院の課程を修了した者
- ③ 公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者
- ④ 学士の学位を有し、かつ日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを420単位時間以上受講し、これを修了した者
- ⑤ 日本語教育機関認定法に基づく「登録日本語教員」
- ⑥ 法務省告示校の日本語学校、または文部科学省による認定日本語教育機関において日本語教師として勤務している者

■問い合わせ先

一般財団法人日本国際協力センター(JICE・ジャイス) 多文化共生事業部

JICE 日本語教育・就労支援センター 初任者研修担当

Tel:03-6838-2736

お問い合わせはこちらから → <https://forms.office.com/r/CuT4hrbthF>

■一般財団法人日本国際協力センター(JICE)について

➤ JICE ホームページ :

<https://www.jice.org/>

※認定日本語教育機関(就労)「JICE 日本語教育・就労支援センター」の活動:
ホームページ内、「多文化共生・日本語教育」のアイコンよりご覧いただけます。

➤ JICE 日本語教師 Facebook :

<https://www.facebook.com/jice.nihongo.edu/following/>

